

地域アーカイブにおける課題と対策

地域アーカイブとは

都道府県または市区町村レベルの公立・公共および私立・民間の機関で、自機関保有のコンテンツのデジタルアーカイブ化に取り組んでいる機関、または当該機関が保有するデジタルアーカイブそのもの。

〈具体課題の事例〉

課題	カテゴリ	考え得る対策または地域アーカイブ機関からの要望等
専門人材の不足	人材	大学や企業との連携、講習会の継続開催、大学での資格制度や教育の拡充
予算が措置できない、首長理解	意義、広報	DA化の意義を啓発する、広報強化、補助金
地元企業の育成	手法（関連産業）	関係企業への情報提供、基礎技術の共有
デジタル化の必要性への理解	意義、事例分析	成功事例の可視化、成功要件の分析
デジタルデータを自組織で長く保存できる仕組みがない	長期保存	必要性の広報と予算の確保、技術の把握
所蔵コンテンツを公開できない	法的課題	法制度の改正や文化庁長官裁定制度の広報

課題	カテゴリ	考え得る対策または 地域アーカイブ機関からの要望等
他機関、住民と連携するための方法	事例分析	先行事例の共有
組織全体の長期計画とのマッチング	事例分析	先行事例の共有
技術面の相談相手の確保	人材	人材バンクの設置、大学企業連携
デジタル化のステップの把握	手法	時系列的な進め方のガイド
デジタルアーカイブシステムの継続	手法	長期に提供しているDAの分析
デジタル化の費用算出、システム把握	手法	関連業界の把握
オープン化に対応できない	意義、法的課題	メタデータCC0、デジタルコンテンツCC0又はCC BYの推進
メタデータを作成できない	手法、コスト	効率的なメタデータ作成の共有

■ 論点

(1) 個別課題への対応のほか、地域のアーカイブ構築の障害を解決するためには何をすべきか

- 例えば、県または地域ごとに、デジタルコンテンツのメタ情報提供基盤（機能）をもつ地域のサービスを作るにはどうすればよいか
- あるいは、大学が地域において、デジタルアーカイブ推進役※として、大きなリソースとなる可能性があるのであれば、大学との効果的な連携方法等はあるか

※技術や人材教育サポートのみならず、社会組織の連携アシスト、データ利用分析、データ活用、資料解説等の役割

(2) 対応済み、または対応可能課題については、各種ガイドラインの改定に盛り込む方向でよいか

- 有効な広報手段はあるか、またどこがその役割を担うべきか